

# 令和7年度 四和小学校経営方針

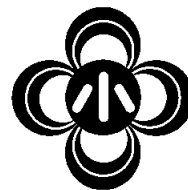
## 1 経営理念（学校経営の指標）

『全ては子どものためになるかどうか』を判断基準におく。

## 2 学校教育目標

### 学校教育目標

**夢や希望をもち、心豊かでたくましい児童の育成**  
～かしこく・やさしく・たくましく～



「夢や希望をもち」とは、短期・長期の目標（夢）をもち、それを達成するための過程（プロセス）を全力で取り組み、教師はその活動を見守り支援しながら評価（賞賛）し、感動（希望）につなげていく。この繰り返しが教育であり、成長するための力となり、四和小教育の礎となる。夢＝希望・願い

「心豊かでたくましい」とは、友達との人間関係の中で、思いやる心や感謝の気持ちを持ち、単に知識力だけでなく、実生活及び10年後、20年後においてもそれぞれの場面で生き抜くことができる力があること。生涯に渡って基本的な生活習慣に留意し、運動に親しみ、健康で安全に生きていく力があること。激変する社会の変化に対応し、生き抜くことができる人づくりを、全力で推進していく。

### めざす児童の姿

- 1（知）かしこく 自ら進んで学習する子
- 2（徳）やさしく 思いやりの心をもって 協力し合う子
- 3（体）たくましく 健康安全に気をつけ 元気に運動する子

### めざす学校の姿

- 1 笑顔があふれる、楽しい学校
- 2 子どもが生き生きと学ぶ、安心な学校
- 3 子どもと教師が何事にも全力で取り組み、努力し合っている学校
- 4 家庭や地域社会と密接に結びついている学校

### めざす教師の姿

- 1 子どものことを第一に考えることができる教師
- 2 専門職としての力量見識を持ち信頼される教師
- 3 保護者の思いや願いを感じ取ることができる教師
- 4 社会人として通用する識見をもった教師

### よつわのこの約束

- よく見、よく聞き、よく書こう
- つよくて元気な体をつくろう
- わらいにあふれ、みんな仲よし
- のこさず、すみずみまでだまってそうじ
- こうしゃの中は、静かに歩こう

### 四和の精神（開校記念碑の言葉）

「全力をつくせ」  
令和5年度～ 合い言葉  
「やればできる！」

### 四街道中学校区小中教育目指す「15歳の姿」

- よく考え、自ら学ぶ子
- 思いやりがあり、正しく判断できる子
- 明るく健康な子

『もっと ワクワク大作戦！』

### 3 経営方針

#### (1) 生命尊重・人権尊重の精神を養い、いじめのない学校をつくる。

- ・友だちも自分も大切にし、心の痛みがわかる心情を育てる。
- ・自然環境や生き物を大切にすることを養い、さらには環境保護にそれぞれが深く関わっていることに体験を通して認識させる。
- ・いじめの未然防止と早期発見に努め、いじめの傍観者をつくらない。

#### (2) 互いの個性を認め合い、切磋琢磨して喜びを感じる学校生活にする。

- ・一人一人の個性を大切にし、生徒指導の機能を生かしたきめ細かな指導をする。
- ・努力し合って互いに伸びる集団づくりに努める。
- ・グループやペアを意図的・計画的に仕組み、多くの友達との関わり合いを増やし、誰とでも分け隔てなく活動できる児童を育てる。(コロナ禍で遠ざかった子ども同士の距離を近くしていく)
- ・学校行事などに児童を積極的に参画させ、主体的な活動を促し、達成感を味わわせる。  
→代表委員会、学級委員等の役割を重んじ、児童主体の学校生活となるようにする。

#### (3) 真・善・美に感動する心を育て、実践できる態度を培う。

- ・児童一人一人のよさの伸張を図る生徒指導・学習(道徳)指導を推進し、よりよい生活習慣の習得を図るとともに、よいことを進んで実践する態度を育てる。

#### (4) 集団生活を通して共に磨き合う心を大切にする。

- ・縦割り活動(兄弟学級等)を有効に活用し、協力・協調の中に生きる喜びや自己存在感・自己有用感を高め、自己実現が図れる体験活動を重視する。

#### (5) 国際理解教育を推進し、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

- ・日本の国や地域社会の文化と伝統に対する理解と関心を高める。
- ・諸外国の人々の生活や文化・歴史を理解し、敬意をもって他者を尊重する態度を育てる。
- ・インターネットの利用を通して、広く社会を知り、国際社会の一員として諸外国の人々に対して差別や偏見なく接することのできる態度を育てる。

#### (6) 個別の支援や配慮が必要な児童への適切な指導と交流教育に努める。

- ・特別支援学級と通常学級との連携及び交流を密にする。
- ・校内組織の確立および教職員間の連携を図り、全教職員で指導にあたる。
- ・インクルーシブ教育の構築を図るとともに、可能な限り、合理的配慮に努める。

#### (7) 教職員間の共通実践を大切にし、協調の精神と責任ある言動を心がける。

- ・個々の創意と工夫を生かしながら、まとまりのある実践に努める。
- ・一人一人が学校経営に参画する意識を持つ。【四和ファミリー】

#### (8) 日常の充実した実践を基盤に、校内研修を積極的に推進する。

- ・教員一人一人が授業力の向上、指導法の改善に努める。
- ・各教科・領域等でT・Tや交換授業を積極的に行い、個に応じた指導の充実に努める。
- ・地域の自然・施設・人材の積極的な活用を図る。(地域学校協働活動推進事業)
- ・学習指導要領の趣旨に則り、「何を学ぶか」→「どのように学ぶか」を重視した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- ・小学校外国語教育を推進する。(市内全小学校が教育課程特例校として指定)
- ・言語能力の確実な育成と体験活動のさらなる充実を図る。

### (9) 学校環境の整備と施設・設備の効果的活用、保全に努める。

- ・定期点検や日常点検を怠りなく実施し、学校事故の防止に努める。
- ・教育的環境を常に整備し、施設・設備の有効活用を図る。

### (10) 家庭との連携を図った教育活動を推進する。

- ・学校だより等を活用し、学校から家庭や地域への情報発信に努める。  
(学校だよりの地域への回覧を再開する)
- ・授業参観を適切な方法で実施する。(土曜実施+平日実施)
- ・ホームページの充実を図るとともに、マチコミメール配信や Teams による配信により、個人情報に配慮した情報発信を行う。(学校・学年の教育活動の様子がわかるもの、小中一貫教育に関するもの、特別支援教育に関するもの、道徳の授業の様子がわかるもの)。
- ・学校行事について、適切な方法で保護者の参加を募り、連携を深める。

## 4 本年度の重点事項 全ての子どもに愛をふりそぐ 担任の思いを込めた学級目標の掲出

(知) 児童が自分の考えや思いをもち、課題の解決を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。(学力の向上を目指す)

☆数値目標 (県平均+2点)、市販の学期末テストの数値化、SHORT タイムの充実、

☆毎時間必ず学習問題を板書する。発言している人に体を向ける。

(徳) 自己肯定感・自己有用感・自己存在感を育み、共感的な人間関係を築く。(思いやりのある、豊かな心を育む)

☆子ども同士の関わりを多く仕組む。縦割り活動(兄弟学級)の充実

☆目標をもたせ、活動の過程を充実させ、評価することで感動…夢・希望につなげる

(体) 運動に親しみ、活力にあふれる健やかな体を育む。(体を動かすことが好き+体力の向上)

☆体育授業の充実。全力走の位置づけ。外遊びの日常化。

☆早寝、早起き、朝ご飯(規則正しい生活習慣の定着を図る→組織として家庭に発信)

## 5 研修

○本年度の研究主題

『自らの考えをもち、表現できる児童の育成』 算数科

～学びあいをいかし、思考を深める授業づくり～

- ・これまでの3カ年で研修してきたICTの有効活用を継続して進めながら、学びあいを活かした算数科の授業づくりについての研究主題を設定する。
- ・児童の思考力・判断力・表現力を高めるためには、授業中の「対話」を重視することが大切であると考え、活動の中にペアやグループ、全体での話し合いを位置づけるなどして自他の考えを深めるようにする。更に、アウトプットするための表現力をつけるための手立てを考えていく。
- ・タブレット一人一台環境を有効かつ適切に活用していき、わかりやすい授業のための一助としていきたい。
- ・四街道中学区小中教育の充実に向け、四街道中・和良比小と連携した研修を推進する。  
※「令和7年度 命の大切さを考える防災教育公開事業」拠点校：和良比小学校